

ホロコースト教育 —アウシュヴィッツ博物館の場合—

日時：2021年6月18日 14：45～16：15

講師：中谷剛氏

ポーランド国立アウシュヴィッツ博物館日本語公式ガイド。通訳・翻訳家。
著書に『アウシュヴィッツ博物館案内』（2012年、凱風社）、『ホロコーストを次世代に伝える』（2007年、岩波ブックレット）などがある。



なぜ、いま、わたしたちはホロコーストを想起すべきなのか？

第二次世界大戦時、ナチ・ドイツは、占領地ポーランドにアウシュヴィッツ強制収容所を建設し、ユダヤ人、ロマ、同性愛者、政治犯を、「人種」の違いや「反社会性」を理由に殺害した。ヨーロッパにおける人種主義とジェノサイドの歴史を刻む「負の世界遺産」アウシュヴィッツ博物館にて活動する中谷剛氏とともに、私たちが生きる社会における「多様性」と「共生」に関わる諸課題を見つめ直す。